

平成27年5月19日
国土交通省三陸国道事務所
岩手県北広域振興局
野田村

三陸沿岸道路の発生土を地域の復興事業に活用

～復興支援の一環として現場発生土を安全・安心な地域づくりに活用します～

国土交通省三陸国道事務所では、震災復興支援の一環として、整備中の三陸沿岸道路「野田久慈道路」で発生する土砂を、被災市町村等の復興関連事業に提供してまいりました。

今般、施工中の「野田村前浜地区防潮堤復旧工事」（県北広域振興局林務部所管）および「主要地方道 野田山形線新設工事」（同局土木部所管）、「都市公園整備事業」（野田村復興むらづくり推進課）に提供し、地域の復興事業を積極的に支援してまいります。

つきましては、以下の日時により現地にて報道機関向け説明会を行いますので、お知らせします。

【日 時】平成27年5月22日（金）11:00～（30分程度）

○岩手県沿岸地域の公共事業に伴う建設発生土については、国・県・市町村と調整し、それぞれの事業間で有効活用を図ることとしています。

○その調整に基づき、これまでも久慈市宇部町の「宇部川地区ほ場整備事業」（県北広域振興局農政部所管）等に三陸沿岸道路工事からの発生土を提供してまいりました。

○東日本大震災で被災した前浜地区（十府ヶ浦）の防潮堤復旧事業や野田 IC（仮称）のアクセス道となる県道野田山田線、津波防災機能を備えた都市公園整備事業は野田村地域の代表的な復興事業（別紙参照）であり、早期完成に向けて関係機関が連携して整備を進めています。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、久慈報道機関、東北専門記者会各社》

問い合わせ先

【土砂提供・概要説明会に関すること】

国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所

〒027-0029 宮古市藤の川 4-1 電話 0193-62-1711 (代表)

副所長 平岡 弘志 (内線 204) 建設監督官 金濱 巨晃 (内線 6341)

【災害復旧事業等（土砂提供先事業）に関すること】

・岩手県北広域振興局

〒028-8042 久慈市八日町 1-1 電話 0194-53-4981 (代表)

林務部 森林保全課長 千葉 幸司 (内線 228)

土木部 道路整備課長 乙部 智明 (内線 261)

・野田村役場

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田 20-14 電話 0194-78-2915

復興むらづくり推進課長 松本 良治 (内線 270)

三陸沿岸道路からの発生土提供 報道機関向け現地説明会 会場案内

別添図



三陸沿岸道路 野田久慈道路(普代～久慈)概要

野田久慈道路 (普代～久慈) L = 25 km

路線概要

三陸沿岸道路「野田久慈道路(普代～久慈)」は、普代村第16地割から久慈市新井田を結ぶ約25kmの自動車専用道路です。

現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により救援物資の輸送拠点となる久慈港と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

平成27年度は、用地買収等を進め、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施予定です。

計画諸元

野田久慈道路 (普代～久慈)	
起 点	下閉伊郡普代村第16地割
終 点	久慈市新井田
延 長	25km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



野田村周辺復興関連事業への発生土提供

報道機関説明会

次 第

平成 27 年 5 月 22 日（金）

11:00～（30 分程度）

野田村第 10 地割地内

（十府ヶ浦海岸）

1. 概要（主旨）説明・・・・・・・・・・三陸国道事務所
2. 災害復旧事業等説明・・・・・・・・・・岩手県、野田村
3. 三陸沿岸道路からの土砂提供説明・・・・三陸国道事務所

※野田久慈道路 浜山トンネル（仮称）から発生した原材料（岩ズリ）を提供先事業の盛土材料等に活用可能なように加工する工程（機械で破砕する状況）、防潮堤事業への搬出状況 等をご覧戴きます。



参考写真

野田村前浜地区防潮堤復旧工事

事業概要

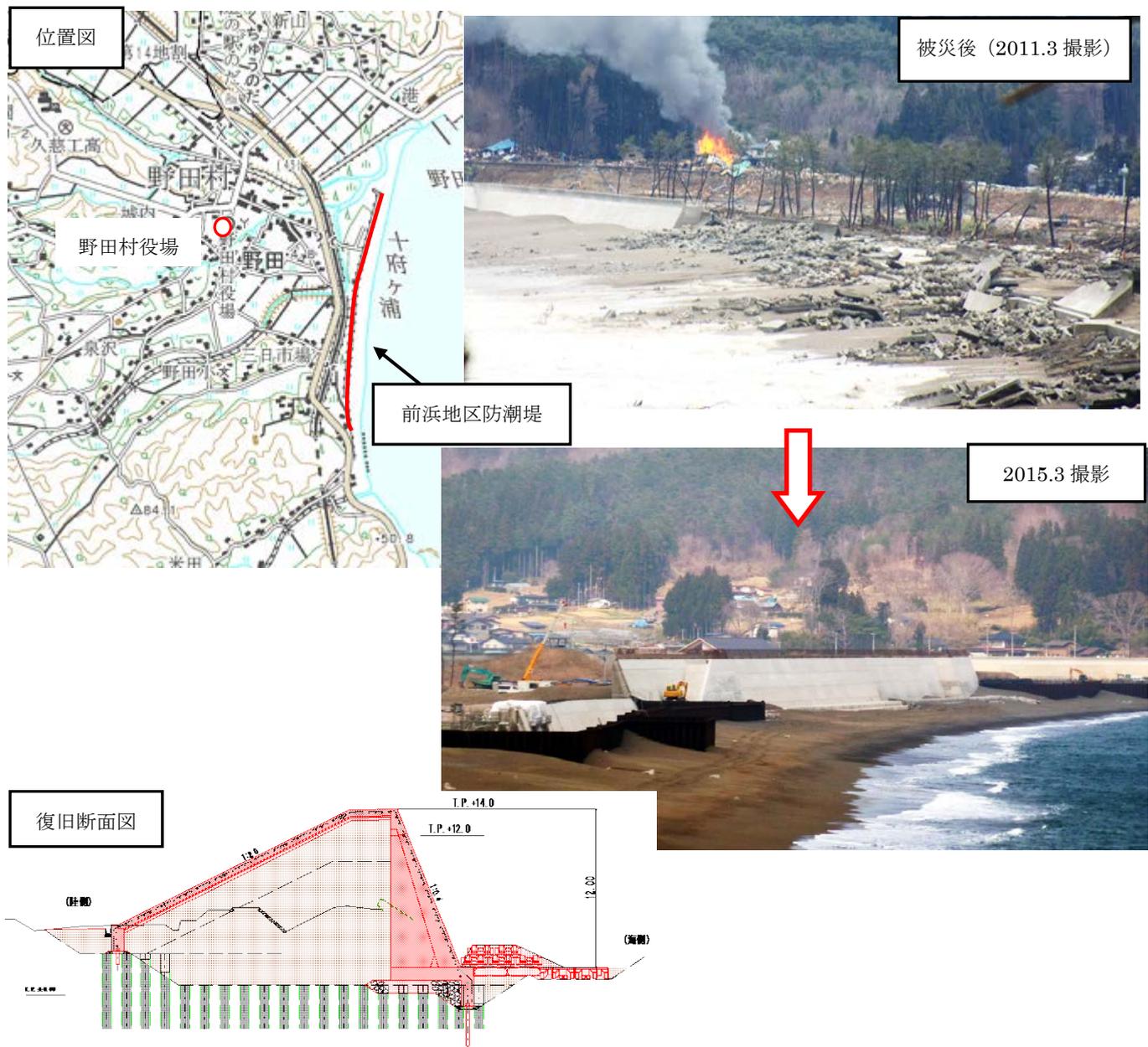
前浜地区には飛砂、波浪などの潮害防止のため整備されていた防潮堤や樹齢80年を超える防潮林がありましたが、東日本大震災津波により被災し防潮堤が被災、防潮林もほぼ全域が消失しました。

このため、本事業では被災した防潮堤を復旧し、背後にある野田村市街地、国道45号線、三陸鉄道を保全するとともに、復旧予定の防災林造成の基盤を整備するものです。

工事概要

- (1) 事業名：林地荒廃防止施設災害復旧事業
- (2) 全体事業費：47億円
- (3) 復旧延長：1,339m
- (4) 完成予定：平成27年度

防潮堤の復旧とあわせて防潮林(12.2ha)の再造林についても予定しています。



番号	2	施策内容	物流の効率化を支える道路、港湾の整備
事業名	地域連携道路整備事業【復興交付金事業、社会資本整備総合交付金（復興枠）事業】		
路線名	主要地方道野田山形線		
箇所名	九戸郡野田村野田地内		

事業概要

国道45号を起点に、野田村が進める城内地区防災集団移転促進事業（防集事業）の区域に隣接し、三陸沿岸道路（仮称）野田インターチェンジに接続する、延長1.5km弱の道路新設（岩手県道29号 主要地方道野田山形線の切替え）事業です。

この県道事業は、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震及び津波により、野田村の市街地が津波で浸水し、国県道等の主要な幹線道路のネットワークが寸断されたことをふまえ、県道を浸水想定区域外に付替え、防集事業等と一体となったまちづくり支援を図ることを目的に実施するものです。

◆岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画 第2期（抜粋）

災害に強い交通ネットワークの構築No. 7 <三陸復興道路整備事業>	
事業目的	三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築
復興関連道路	【防災拠点・医療拠点へのアクセス道路】三陸沿岸地域の防災拠点（役場、消防等）や医療拠点（二次・三次救急医療施設）へアクセスする道路及び水産業の復興を支援する道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進

岩手県HP：野田山形線 野田工区 <http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/jigyo/019338.html>

計画概要等

全体計画	着手年度	平成24年度
	完成予定年度	平成29年度
	主な事業内容	事業延長1,500m（バイパス） 高台アクセス・仮称野田IC接続
	総事業費（百万円）	3,250
	H26までの事業費（百万円）	953
今年度計画	主な事業内容	用地買収・土地収用の促進 軟弱地盤対策工事の実施 高台アクセス区間工事の推進
	事業費（百万円）	1,558
	全体計画に対する進捗率（%）	77%

位置図



野田村 都市公園整備事業（津波防災緑地）

1 事業概要

東日本大震災津波の浸水区域について、野田村では居住の場を安全な地区に移転して、その跡地には良好な生活環境機能、防災・減災機能を併せ持つメモリアルパーク（津波防災緑地）を整備します。

本公園は、津波襲来時の避難時間の延伸、津波エネルギーの減少等の津波防災機能を備えた津波の緩衝地帯とすると共に、地域ごとの暮らしや文化を継承しつつ、安全・安心で活力あるまちづくりが速やかに進展していく一助の場になることを目的に整備されるものです。

この都市公園事業における高盛土は、高台団地造成発生土、津波堆積物、コンクリート殻を有効利用し施工され、防災機能が向上することから、村の復興事業に弾みがつくこととなります。

2 計画概要

- ・ 事業面積 19.3ha
- ・ 事業期間 平成 24～28 年度
- ・ 総事業費 2,206 百万円
- ・ 事業内容
 - 築堤工 盛土 128 千 m³
 - 公園工 張芝、植栽、遊具、管理棟
休憩施設
 - 構造物工 ボックスカルバート 2ヶ所
橋梁 2ヶ所

都市公園盛土整備工法について

- 盛土材は、高台団地発生土を有効活用します。
- 盛土内には、不等沈下防止のためにコンクリートを破碎した砕石を敷均します。
- 盛土表面は、安全性を考慮し、良質の表土を利用します。

